

「身近な地域のまちづくり活動への政策提案」

松里研究会

平成28年2月

甲州市都市整備課 坂本 豊

H27年度地域景観リーダー育成研修会

松里研究会活動内容の紹介

□ 2008 11月17日設立

松里地域の歴史文化はもとより 記憶の中にある資産を含めて (再)発見し、「良さ」や「宝物」を紹介し、地域内外に発信していこうと集まった。

□ 構成メンバー

設立当初は7名でしたが、特に会員等は定めずに広く参加してもらえるようにサロン形式で運営をしていて、現在では例会に毎回10名程度参加している。

□ 活動の目的

「松里」の歴史や生活を見つめ直し、その「良さ」を発信していくことで、地域住民の交流を促し「松里」が真に豊かな地域として維持発展していくことを目的としている。

基本的には、毎月第2月曜日の例会を開催して、活動について話し合い、地域内外の方々や行政とも連携しながら、身の丈に合った活動を続ける。



松里研究会活動内容の紹介

□ 松里地区ってどんなところ？

甲州市の西側の笛吹川の左岸域にあり、昭和29年に旧塩山市として合併されるまで「松里村」呼ばれてた地域で塩ノ山の北西部を占めている。古来から様々な歴史の舞台となり、往時を偲ぶ歴史的な建造物が残されている。又この地域に特有な甲州民家の軒先に枯露柿が干される風景は、晩秋の魅力ある景観となっている。

□ 活動の内容

- 「松里」の歴史を紐解いていきます。
松里の神社仏閣に秘められた歴史だけでなく、道（秩父往還、三塩軌道跡）や戦争遺跡（糧秣廠跡）、セギ、または人々の記憶の中に留められたれ歴史にも目を向けます。
- 「松里」の生活を見つめ直します。
甲州民家や枯露柿などに見られる人々の営み、又この地域を支えてきた産業（養蚕、果樹栽培、職人の仕事）や、古くから受け継がれてきた風習の中に新しい価値を見出します。
- 人々の交流を促します。
三塩軌道跡を巡るウォーキングイベントの開催や、ワインツーリズム、学習会などの企画をとおして地域内外の人々との交流の場を広げていきます。



松里研究会活動内容の紹介

□ 活動の内容

● 例会

毎月1回（第2月曜日）に通常は、機山洋酒工業の店舗で開催している。サロン形式で会員を決めず、SNSで開催日を告知し参加は自由、この例会においての話でイベント開催の決定や活動内容を決定し、関係者の協力を得ながら実施している。

● フットパスの実施

2009年5月30日の三塩トロッコウォークを皮切りに、フットパスを毎年実施。今年度は11月15日「ころ柿の里松里の秋を楽しむフットパスを開催した。フットパスは歩くことにより、普段見過ごしがちなものに気づき、講師の説明により新たな発見が毎年あり、楽しみながら地域の魅力の発見につながっている。

● ふるさと学習会

地区の公民館と連携して、地元のお年寄り、職人さん、歴史文化に詳しい方を講師に招き、年1回程度開催している。前に聞き取りをお願いした方が既になくなっていたり、地域の貴重な話を聞くことができ、まだまだ知らない事が多いことに驚かされ、いい勉強になる会になっている。

● ワインツーリズム（塩山コース）

2009年11月7日から、ワインツーリズムに塩山コースを新設し、参加、ワイナリーめぐりだけでなく、地元の食材でのおもてなしコーナーや、職人さんの仕事ぶりの見学会など、松里地区に着たくなるような付加価値を提供して魅力を発信している。

● 地域の行事、イベントに参加及び情報発信

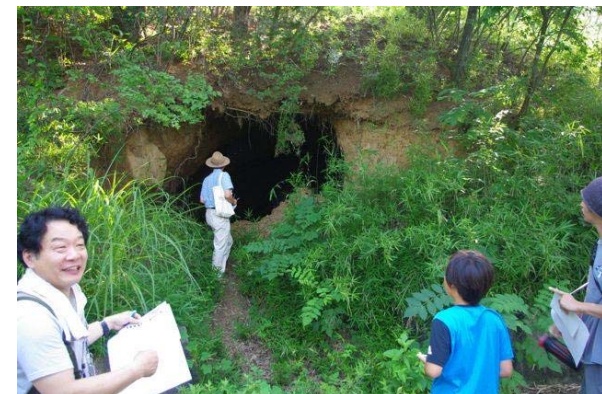
このような活動をしていると、地域にも興味をもち、地域で古くから行われている祭事やイベントにも積極的に参加するようになり、運営に関わることも多くなっていく、その内容をより広く発信していくことも、地域からの情報発信に繋がっている。



松里研究会活動内容の紹介

□ 活動の成果

- フットパスガイドブック2種類を作成できた。
- 糧秣廠跡について、聞き取りや文献により詳しい調査が出来た。
- 地域の住民との交流も広がり、地域外の人とも交流が出来た。
- 地域のことについて再発見できた
- いろいろな意見や感じ方があることを再確認できると共に、その調整のノウハウも上達してきた。



松里研究会活動内容の紹介

□ 課題と今後の方向性

継続して行うことが一番大切だと思っている。もっと参加者を増やし、この地域の魅力をより広めていきたいが、規約を作ったり、組織をしっかり固めていくことにより、かえって重荷になってしまい、会が消滅してしまうパターンを多く見ている。

今まで継続できたのは、ゆるく、あまり負担に感じないよう取り組んでこれたことが良かったからだと思っている。

これからも、くるものは拒まず、去るものは追わず、身の丈にあった活動を行いながら魅力の発見や発信をしていきたいと思う。

共感者も当初からするとかなり増えてきたと感じているので、集う人たちとの交流を楽しみながら活動していきたい。



松里研究会活動内容の紹介

□ 平成28年計画

- 1月25日 28年第1回例会
- 2月14日
- 2月22日 例会（新年会）～毎月1回第2月曜日
- 2月28日 小屋敷堰笛吹川取水口現地調査
- 3月20日 松里地区をホタルの里に（継続）
育成河川の特定と「かわにな」育成勉強会
- 4月9日 信玄公まつり参加団体協力
寺小屋歴史探訪学習会
- 11月 日 ワインツーリズム参加
- 11月 日 松里を楽しむフットパス
- その他 例会での提案により決定



松里研究会の活動に対する提案

□ 今まで活動できた要因

- ゆるく気軽に参加できるようにしてきたこと。
- 活動内容も制限せずに例会での提案などを基に決定したこと。
- 地域や他の団体とのコミュニケーションがとれていて、協力し合ってきたこと。

□ 提案

- 行政・地域・団体の連携づくり及び強化（市域のサロン等）
- 情報発信の拡大と充実（行政としての情報発信の検討）
- イベントに対する支援
（年間活動でなく、イベントへの補助や講師やスタッフ協力）

□ まとめ

- ◎ 成果より継続することの価値を高める
活動やイベントに対するの評価を、短期間でなく長期的な目標の為、継続していく事に対して評価をするようにしていく。